

## 令和5（2023）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	タカベ	対象水域	太平洋中・南部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部、千葉県水産総合研究センター、東京都島しょ農林水産総合センター大島事業所、神奈川県水産技術センター、静岡県水産・海洋技術研究所、三重県水産研究所	協力機関名	

### 1. 調査の概要

千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県の1都4県から主漁法・漁獲量に関する情報を、さらに東京都から令和4年度伊豆諸島周辺海域におけるタカベ資源評価の報告書を収集した。主漁法・漁獲量に関する情報を基に、各都県のタカベ漁業の概要をまとめた。本系群について、資源水準および動向判断は行わなかったが、東京都が令和4年度に実施した伊豆諸島周辺海域におけるタカベ資源評価において、同系群の資源水準・動向判断を行っていることから、参考情報として一部を掲載した。

### 2. 漁業の概要

本種の漁獲量について、千葉県は2004年以降（年別、主要水揚漁協）、東京都は1949年以降（年別）、神奈川県は2015年以降（月別、主要港）、静岡県は2001年以降（年別、主要地区の定置漁業）、三重県は2011年以降（月別・年別漁法別、主要水揚漁協）の情報を集計した。タカベ漁業は、古くから行われており、戦後に伊豆諸島海域を中心に漁獲が盛んになった。調査対象全県のタカベ漁獲量（図1、表1）は、1950年代に200トン前後で推移したが、その後増加し、1960年代後半～1970年代前半にかけて500～800トン超にまで達した。以降、漁獲量の大部分を占める東京都において、人手不足や自然災害の影響による漁業規模の縮小が続いており、再び300トン前後に減少した。2011年以降は概ね100トンを下回り、直近の2020、2021年の年間漁獲量は約20トンであった。

都県別漁獲量（図1、表1）は、東京都が圧倒的に多い。最盛期には、寄網や建切網といった大規模な漁法が行われ、年間漁獲量も800トン超に達した。現在は個人の刺網漁による漁獲が中心となり、2020年以降の年間漁獲量は20トン以下で推移するなど、大きく減少した。次いで漁獲量が多かったのは千葉県であり、2000年代～2010年代前半にかけて、20～40トンの年間漁獲量があった。以降は大きく減少し、2020年以降は1～2トンで推移している。従来は、ほとんどが内房側の漁協で漁獲されたが、直近の2022年はほとんどが外房側の漁協で漁獲された。神奈川県では、主に三崎・真鶴港の定置網で漁獲される。2010年代はほとんど漁獲がなかったものの、直近の2021、2022年に漁獲量が増加しており、真鶴港で主に定置網で漁獲された。静岡県では、主に伊豆東岸の大型定置網（7か統）で漁獲される。2000年代は1～2トンの漁獲があり、2010年代は増減を繰り返し、2022年は2トン弱の漁獲があった。三重県では、主に大型定置網で漁獲される。

2012、2013年は2トン前後の漁獲があったが、以降は減少し、2020年以降は0.3トン前後で推移している。

### 3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：房総半島から九州にかけての太平洋岸の外洋に面した岩礁地帯に生息する。伊豆諸島各島で実施された標識放流では、島間を移動し再捕された個体は報告されていない（有馬 1990）。
- (2) 年齢・成長：耳石による年齢査定が行われ1歳で尾叉長 125 mm、2歳で尾叉長 170 mm ほどに成長する。最高で7歳で尾叉長 200 mm ほどに達する（Watari et al. 2005）。
- (3) 成熟・産卵：伊豆諸島では夏～秋にかけて成熟個体が見られる。生殖腺重量指数は9～11月が高く10月にピークを示す。雌雄とも尾叉長 120 mm 以上の個体で成熟が見られる（有馬 1984、亘 2006）。
- (4) 被捕食関係：動物プランクトンで主にカイアシ類を捕食する（武藤 1970）。

### 4. 資源状態

本資源は評価対象海域において、特に伊豆諸島海域で操業する東京都で大部分が漁獲されている（図1、表1）。しかし、近年は黒潮大蛇行の影響で、東京都の刺網漁の努力量が大きく減少しており、それに伴い東京都の漁獲量も大きく減少している。他県についても同様に漁獲量が減少しており、関係県の漁獲量・努力量が評価対象海域全体のタカベ資源の代表的な指標値として扱えるとは考えにくいいため、資源水準および資源動向の判断は行わなかった。

東京都は伊豆諸島周辺海域におけるタカベの資源評価を行っており、同海域におけるタカベの資源水準および資源動向の判断を行っている。

### 5. その他

東京都漁業調整規則において、全長10 cm以下のタカベの採捕が禁じられている。また、東京都資源管理方針（東京都 2023）において、漁業調整規則の遵守と資源管理協定の締結の促進や公表、協定参加者自らによる当該協定の実施状況の定期的な検証および取組内容の改良を促進することとしている。

### 6. 引用文献

- 有馬多恵子 (1984) 伊豆諸島海域におけるタカベの資源生態について（概要）. 昭和 59 年度沿岸重要資源委託調査成果報告書, 49–59.
- 有馬多恵子 (1990) タカベの資源調査から 刺網漁況と魚体組成および移動について. 昭和 62,63 年度沿岸重要資源委託調査成果報告書, 50–66.
- 武藤修一 (1970) 伊豆諸島におけるタカベの漁業生物学的研究. 東京水産大学修士学位論文, 1–69.
- 東京都 (2023) 東京都資源管理基本方針（別紙 3-2）. <https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/1bd7996f2352bb79c170a4cd68eab71f.pdf>
- Watari, S., J. Yonezawa, S. Yamada, E. Tanaka and T. Kitakado (2005) Age and growth of

yellowstriped butterflyfish, *Labracoglossa argentiventris*, around Izu Oshima Island. Fish. Sci., **71**, 86–94.

- 亘 真吾 (2006) 伊豆諸島北部海域におけるタカベの資源学的研究, 水産総合研究センター研究報告, **18**, 167–242.

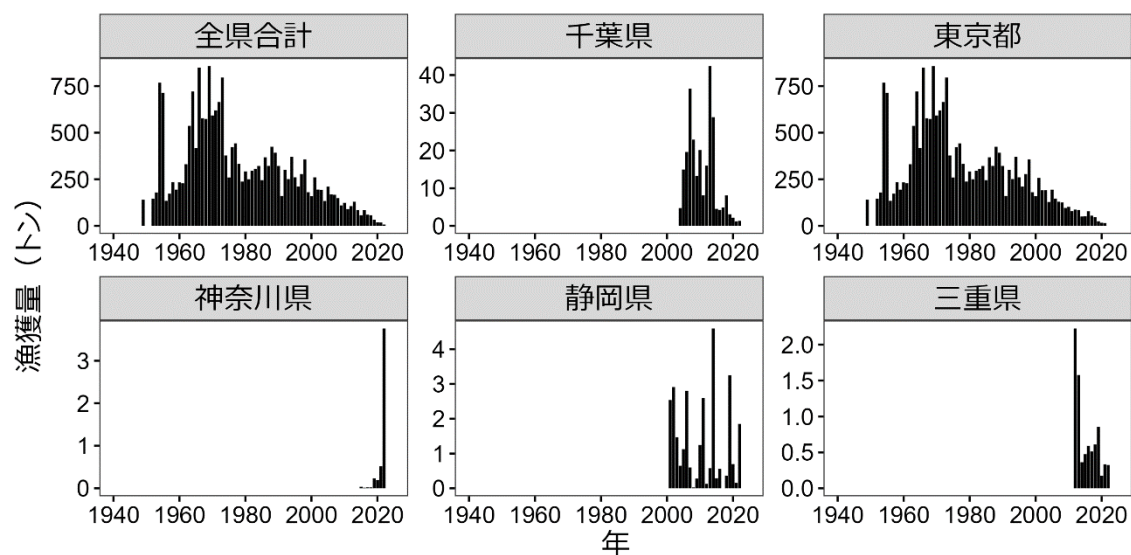


図1. タカベの都県別漁獲量 集計期間は都県によって異なる (千葉県は2004～2022年、東京都は1949～2021年(2022年については集計中)、神奈川県は2015～2022年、静岡県は2001～2022年、三重県は2011～2022年)。

表 1. 1949～2022 年の各都県によるタカベ漁獲量 (トン)

年	千葉県	東京都	神奈川県	静岡県	三重県	合計
1949		141				141
1950		0				0
1951		0				0
1952		146				146
1953		179				179
1954		769				769
1955		714				714
1956		134				134
1957		172				172
1958		234				234
1959		194				194
1960		233				233
1961		229				229
1962		331				331
1963		537				537
1964		721				721
1965		418				418
1966		848				848
1967		577				577
1968		574				574
1969		858				858
1970		592				592
1971		620				620
1972		664				664
1973		796				796
1974		378				378
1975		260				260
1976		422				422
1977		443				443
1978		332				332
1979		238				238
1980		292				292

(続き) 表 1. 1949～2022 年の各都県によるタカベ漁獲量 (トン)

年	千葉県	東京都	神奈川県	静岡県	三重県	合計
1981		250				250
1982		296				296
1983		305				305
1984		321				321
1985		245				245
1986		368				368
1987		322				322
1988		425				425
1989		393				393
1990		321				321
1991		160				160
1992		300				300
1993		251				251
1994		370				370
1995		260				260
1996		210				210
1997		278				278
1998		357				357
1999		181				181
2000		160				160
2001		258		3		260
2002		192		3		195
2003		192		1		193
2004	5	128		1		134
2005	15	194		1		210
2006	20	147		3		170
2007	36	130		1		167
2008	23	126		0		149
2009	13	96		0		110
2010	20	102		1		124

(続き) 表 1. 1949～2022 年の各都県によるタカベ漁獲量 (トン)

年	千葉県	東京都	神奈川県	静岡県	三重県	合計
2011	8	79		3		90
2012	16	87		0	2	106
2013	42	85		1	2	130
2014	29	50		5	0	84
2015	5	51	0	0	0	57
2016	4	78	0	1	1	84
2017	5	55	0	0	1	60
2018	8	47	0	0	1	56
2019	3	25	0	3	1	33
2020	2	17	0	1	0	20
2021	1	15	1	0	0	18
2022	1	*	4	2	0	7*

※2022 年については、東京都の漁獲量が集計中のため暫定値。